

奥日光に訪問されたお客様の声

お知らせ

今回4回目の訪問です。
今回は娘夫婦の新婚旅行
のお供です。
台湾人女性

刈込湖に見られる日本の
美しさに感動しました。
フランス人女性

旧きハルニレの湯が
懐かしいです。
日本人女性

湯ノ湖は日本で一番高い
場所にある湖ですか？
日本人男性
(正解は中禅寺湖。但し
面積4平方キロ以上の湖
水の中という条件あり)

戦場ヶ原の湿原に水芭蕉
は咲かないんですね？
日本人女性

45年ぶりの湯元訪問です。
綺麗な町並みに心が癒さ
れます。日本人男性

奥日光は自然豊かな クマ(ツキノワグマ)の 生息地です



奥日光では、毎年多数の目撃報告があります。活動時期には、いつでも全域的に遭遇する可能性があります。外に出る際には、クマに出会わないための工夫をしましょう。

危険を避けるために(概略)

- ・クマ鈴を付け、人の存在を知らせる。
- ・朝夕の散策、単独行動を避ける。
- ・誘引源となるので、ゴミを捨てない、埋めない。
- ・もし遭遇したら静かに後退し、その場を離れる。
- ・母グマは仔を守るために特に攻撃的で危険なので、絶対に近寄らない。
- ・万一襲われたら、伏せて体を丸め、両腕で首や頭を守る。

森のギャラリー

入場無料！ 自然写真展

恒例となったお二人の写真展。奥日光に何度も通り、ほんの一瞬の自然の美しさを捉えた写真の数々が、無料でご覧いただけます。お二人の表現の違いもお楽しみください。

横澤 幸一 さん

撮影場所 奥日光
展示期間 7月31日～8月14日

荒武 宏司 さん

撮影場所 鬼怒沼、奥日光
展示期間 8月15日～9月4日

◆森のギャラリーとは
ビジターセンターに隣接
する、飲食可能な休憩
所です。
また、どなたさまも無料
で展覧会等にご利用い
ただけます。ご予約は
当センターまで。
0288-62-2461

当センター開館日時

6月 9:00～16:30 (無休)
7月 8:30～17:30 (無休)

新スタッフのご紹介

この4月から、新所長をはじめ6人の
スタッフが、ビジターセンターの新しい
仲間として入所いたしました。皆様とお
会いすることも多いと思いますので、ど
うぞよろしく願い申し上げます。

【表紙の話】

青葉の頃になると聞かれるカッコウの
声。オオルリなど野鳥が賑う初夏の山
地に、シラネアオイが咲き出し、奥日光
に華麗なる夏が訪れる。

編集後記

奥日光の自然に魅せられて、この4月からビジターセンターで働くことになりましたM・Kと申します。毎日、素晴らしい自然の中で仕事ができる喜びを噛み締めておりましたが、このGWにショッキングな事件が起こりました。センター前や湯滝付近にゴミが放置されていたのです。しかも、竜頭滝では、アジア人と思われる数人が悪戯書きをして、ニュースになりました。国籍問わずこの奥日光が、自然を愛する皆様の聖地になってほしいと願わずにはいられない気持ちです。

楓通信 No.123

日光湯元ビジターセンター発
-奥日光の自然情報誌-

2016年6月1日発行
次号 8月初旬 発行予定

隔月発行 一部 100円
年間購読料 1,000円(送料込)

年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に
購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

楓 通信

奥日光を愛する皆様に
旬な情報を伝えたい



オオルリ



シラネアオイ



奥日光 歳時記

4-5月

記録的な暖冬を終え、例年よりも早く咲く春の花。突然の季節の交代に戸惑う自然の営み…。異常に早く雪がとけて、急ぐように開花する花を見て、なぜか不安な気持ちになります。自然はサイクルを調節しようとして、振り子が反動するように、思いがけない自然現象をもたらすかもしれません。



2016.4.25 早くも冬から目覚めた刈込湖。積雪が少ない冬だったせいか水量も少ない。



2016.4.26 春まだ浅い日光白根山弥陀ヶ池



2016.4.25 春の訪れを祝福するアカヤシオの花



2016.5.10 湯ノ湖畔を華麗に彩るアズマシャクナゲの開花

先取り 自然情報 6-7月

新緑の森にカッコウの鳴き声が響き、初夏を告げるズミの白い花が咲けば、奥日光にも美しい花の季節到来です。

6-7月に咲く主な花



ホザキシモツケ
7月中、奥日光の湿原で群生が見られる落葉低木ですが、全国的には珍しい植物です。



ズミ
戦場ヶ原や光徳周辺で5月下旬から白い花を咲かせる人気の花ですが、花期は短いです。



ワタスゲ(種)
6月中、湿原一面に広がる白い綿毛の幻想的な風景は、戦場ヶ原の初夏の風物詩です。



ホタルブクロ
薄紅色で鐘形のお馴染みの花で、6月中旬頃、戦場ヶ原などで咲き始めます。



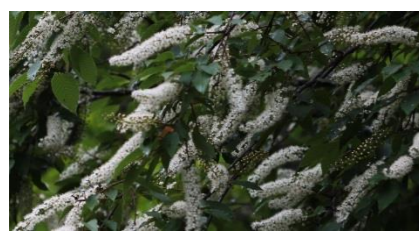
アヤメ
戦場ヶ原では6月下旬に見頃となります。花に紫色の網目模様が入るのが特長です。



レンゲツツジ
湯元や戦場ヶ原で6月中下旬が見頃で、蕾が蓮華のように見えるのが名前の由来です。



シラネアオイ
7月上旬に白根山中に咲く紅紫色の美しい花ですが、鹿の食害で激減してしまいました。



シウリザクラ
6月上旬からブラシ状の白花を咲かせる落葉高木で、シウリはアイス語で「苦い木」の意味です。



イブキトラノオ
7月、戦場ヶ原や小田代原などで、白い小花を虎の尾のような穂の形に咲かせます。



ヤマオダマキ
7月上旬から咲き始めます。花が麻糸を巻いた芋環(おだまき)に似ているのが名前の由来です。



ノアザミ
戦場ヶ原や小田代原で、赤色の帯のように群生します。7月中旬から8月中旬が見頃です。

6-7月にみられる夏鳥

カッコウ
お馴染みの鳴き声で戦場ヶ原に初夏を告げます。姿は中々見られません。

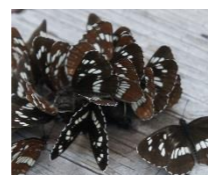
ホトギス
様々な場所で、「東京特許許可局」と聞こえる独特のさえずりを耳にします。

ジュウイチ
標高の高い山地に生息します。さえずりが「ジュウイチー」と聞こえます。

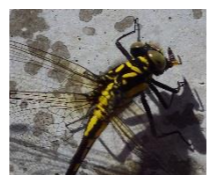
6-7月にみられる昆虫



エゾハルゼミ
各地で間断なく鳴いていますが、曇りや雨の日は静かです。木の幹などに抜殻が付いています。



フタスジチョウ
幼虫の食草はホザキシモツケ等のバラ科植物です。成虫は花や獣糞によく集まります。



ダビドサナエ
本州に広く生息し、戦場ヶ原などで見られます。他にも数種類の「サナエトンボ」の仲間がいます。

ピックアップ モリアオガエル

どんな生きもの?

大きさ: 雄 5cm くらい、雌 7cm くらい 食べもの: 虫

いる場所: 本州(茨城県除く)。低地にもいるが、高地に多い。最高で2,150mの地点で繁殖している。

特徴: 体は緑色で模様は様々。指先には大きな吸盤がある。木に泡で包んだ卵塊を産む。様々な地域で天然記念物に指定されているが、希少というわけではない。



吸盤での立体活動が得意(撮影:湯元)



カエルらしい大きな眼が愛らしい(撮影:湯元)

奥日光での特徴

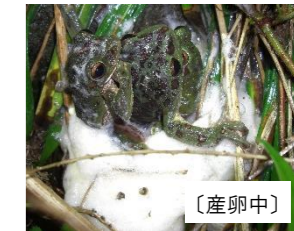
体の模様と大きさ
地域によっていくつかの「タイプ」があります。東北から北関東のものは褐色の斑紋がなく基本的に無地で、体が一回り小さいという特徴があります。黄緑の斑紋が入るものも見られます。



斑紋がないタイプ。明るい色から暗い色まで様々(撮影:湯元)



黄緑の斑紋が入るタイプ。更に細かい場合も(撮影:湯元)



奥日光にはいない、褐色の斑紋が入るタイプ(撮影:山梨)

卵塊を産む場所

木の枝に産むことで有名ですが、草の根元など地上部にも産みます。場所によりその両方であったり木の枝だけだったり様々ですが、奥日光では地上部でしか見ていません。孵化したオタマジャクシは水中に落ちて、そこで育ちます。



草の根元に産み付けられた卵塊。奥日光はこればかり(撮影:湯元)



木の枝に産み付けられた卵塊。奥日光では見ません(撮影:群馬)



泡は、時間が経つと褐色になり固くなります(撮影:山梨)

奥日光での観察ポイント

湿原や池で繁殖
湿原や池など流れのない水辺で繁殖します。奥日光では、湯ノ湖畔の池や泉源、戦場ヶ原湿原や泉門池などで、5月中旬から6月まで。夜行性で姿は探さないと見られませんが、鳴き声は日中でも聞こえます。



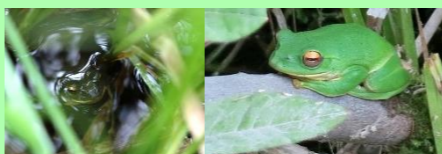
湯ノ湖畔のバス停近くにある池。レンゲツツジが綺麗。観察しやすい。



夜の泉源。姿は見えませんが、鳴き声は湖畔の池より多いです。



鳴のう(鳴き声を増幅させる袋)を大きく膨らませてカララ・・・コロコロとリズムカクに鳴きます(撮影:湯元)



湯ノ湖畔の池では日中は草の根元などに隠れていますが(左)、見える場所にいることも(右)(撮影:湯元)



樹上でも活動しますが、奥日光では見ません(撮影:山梨)



雨の日は車でひかないよう注意(撮影:奥日光・林道)



4本の指で器用に掴む。後肢は5本(撮影:湯元)

2015年の平均気温・湯元

	6月	7月
最高気温	18.4℃	22.7℃
最低気温	11.0℃	15.8℃

2016年 日の出の入り(宇都宮)

	6/1	7/1
日の出	4:24	4:26
日の入	18:53	19:03

天文情報

	6月	7月
新月	5日	4日
満月	20日	20日

※自然公園財団日光支部の記録より

※国立天文台ホームページより

7/30 みずがめ座δ南流星群が極大

※国立天文台ホームページより

日光湯元ビジターセンター イベント情報

奥日光には、豊かな自然の
魅力がいっぱい！ 煌く緑の
コースを歩いてみませんか？

グリーンルイキング

申込受付中

初夏の中禅寺湖南岸を、
自然観察や歴史のお話を
しながら歩きます。

日時:6月26日(日)
10:00~15:00

集合場所:歌ヶ浜駐車場

参加費:500円

定員:15名



風散策

申込不要

真夏でも涼しい夏の湯元の魅力を
ご案内します。自然や歴史など、
ご紹介する内容はスタッフによっ
て様々です。
お申込み不要、無料のイベントで
すので、当日は開始時間前に当
センター前にお集まりください。

日程:7月23日(土)、24日(日)
30日(土)、31日(日)

時間:13:30~14:30

集合場所:日光湯元ビジターセンター

参加費:無料

定員:各回15名程度

イベントのお問合せ・お申込み

電話・FAXにて次の事項を下記までお知らせください。

- ①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号(当日連絡のつくもの)
⑦集合先までの交通手段⑧この催しの情報源⑨前・後泊の有無⑩レンタルの有無

環境省 日光湯元ビジターセンター(一般財団法人 自然公園財団日光支部)
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

- 受付は先着順となります
- 小学生以下保護者同伴
- 持ち物・服装などは、約1週間前
にハガキでお知らせいたします

刈込湖ルイキング

申込受付中

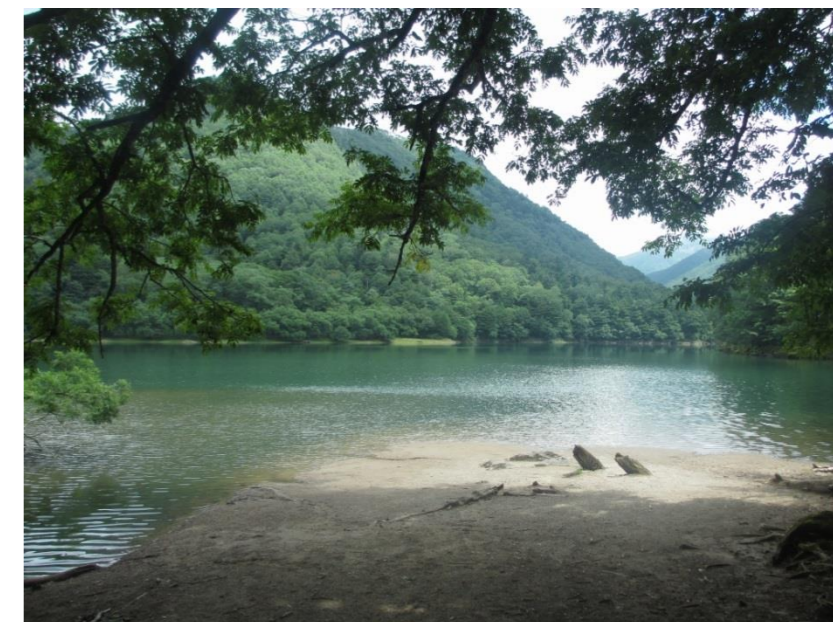
緑が鮮やかな木々の中を
鳥のさえずりを聞きながら、
夏の刈込湖を目指します。

日時:8月7日(日)
9:30~15:00

集合場所:日光湯元
ビジターセンター

参加費:500円

定員:15名



今後の予定

●クマレクチャー

8月14日(日) ※無料・申込不要
クマに詳しいスタッフが、散策の際の注意点
やクマの生態についてお話します。

●山の日制定記念イベント(仮題)

日程未定
山の日制定を記念して、登山やハイキング
関連イベントを企画中です。お楽しみに。

●山ガール in 高山

10月2日(日)
女性限定の軽登山イベントです。高山の頂上
を目指し、帰りは中禅寺湖畔をハイキング。

●冬のバードウォッチング

12月3日(土)
湯ノ湖で水鳥を観察します。湖は観察しやす
いので、経験のない方でも大丈夫です。

この他、1~3月は様々なスノーシューイベントを企画中!

イベントレポート

Pick up

早朝散策 5/3(火) 6:30~7:30

当日は気持ちよく晴れた絶好のお散歩日和で、お集まり
いただいた18名の方々と湯元の春を探しに行きました。

アカヤシオとオオヤマザクラの花、アズマシャクナゲのつ
ぼみなど、昨年に続いて今年も湯元の花の時期は早め。花
を見て歩きながら、泉源に寄ったり、旅館街を忙しく飛び回
るイワツバメを観察しました。

最後に訪れた湯の湖畔の小さな池で、カエルの卵塊や
オタマジャクシとふれあいました。その池はこれからはまた
別のカエルが繁殖を始め、ツツジも綺麗です。バス停の向
かいにありますので、みなさんも探してみてください。(まる)

